

# 令和2年度（2020年度）第1回公立大学法人熊本県立大学理事会 議事録

日時：令和2年（2020年）6月24日（水）午後3時15分～午後3時20分

場所：熊本県立大学 本部棟2階大会議室

出席：

＜理事＞ 理事長	白石 隆
副理事長（学長）	半藤 英明
理事（事務局長）	斉藤 浩幸
理事（副学長）	堤 裕昭
理事	本松 賢
＜監事＞ 監事	河喜多 保典
	本田 悟士

＜事務局＞手島事務局次長、三隅教務入試課長、西嶋学生支援課長、丸山総務課長、松永企画調整室長、脇地域連携政策センター事務長、安達学術情報メディアセンター事務長、宮本国際教育交流センター事務長、松本監査室長心得、高山総務課総務班長、井総務課財務班長、平井総務課財務班参事、松本企画調整室参事

## 1 開会（進行：事務局次長）

## 2 理事長あいさつ

## 3 議題（議長：白石理事長）

### (1) 審議事項

#### ①平成31年度（2019年度）業務実績の自己点検・評価等について

事務局から、資料1に基づき、平成31年度（2019年度）業務実績に係る自己点検・評価について、全50項目中、S～Cの4段階評価でS評価が1項目、A評価が48項目、B評価が1項目であり、順調に実施できたと総括していることを説明した。

また、6月末までに県に提出する

6月末までに県に提出する「平成31年度（2019年度）事業報告書」と県の法人評価委員会に提出する「業務実績報告書」は、この自己点検・評価結果を基に作成するとの説明もあった。

審議の結果、案のとおり承認された。

#### ②認証評価結果（平成28年度受審）に対する「改善報告書」の提出について

事務局から、資料2に基づき、平成28年度に大学基準協会の大学評価を受審時の評価結果において課題とされた事項の「改善報告書」を令和2年（2020年）7月末日ま

で提出する必要がある、改善勧告とされた環境共生学部居住環境学科の専任教員の不足、努力課題とされたアドミニストレーションのカリキュラムとキャップ制の導入について、それぞれの改善状況を記した「改善報告書」の説明があった。

審議の結果、案のとおり承認された。

### ③教員採用に係る枠取りについて

半藤学長から、資料3に基づき、次の2件について、いずれも令和3年4月1日採用予定として枠取りを行いたいとの説明があった。

ア)文学部日本語日本文学科 日本芸能文化論 准教授

イ)環境共生学部環境共生学科食健康環境学専攻 公衆栄養学 准教授

審議の結果、案のとおり承認した。

### ④令和元年度(2019年度)決算について

事務局から、資料4に基づき、平成31年度決算について、貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書、行政サービス実施コスト計算書、利益の処分に関する書類(案)、決算報告書により説明があった。

当期総利益は約1億1千万円で、これは震災に伴う就学支援について県の交付金を相当程度確保できたこと、支出の減として、経費節減に取り組んだこと、時間外勤務の減少や育児休業等により人件費が当初見込みより減少したことなどが要因であること、この利益については、法に基づき、教育研究等環境整備目的積立金への積み増しの承認を県に求めるとの説明があった。

続いて、河喜多監事から監査報告の説明があった。

審議の結果、案のとおり承認された。

### ⑤令和2年度(2020年度)補正予算について

事務局から、資料5に基づき、平成31年度決算について、貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書、行政サービス実施コスト計算書、利益の処分に関する書類(案)、決算報告書により説明があった。

## (2) 報告事項

### ①熊本県立大学未来基金の平成30年度収支状況について

事務局から、資料7に基づき、熊本県立大学未来基金の平成30年度収支状況について、収入状況、支出状況の報告があった。

## 4 その他

- 次回理事会は、令和元年10月23日(水)の経営会議終了後に開催する予定。

## 5 閉会